

◇ 光プロジェクト 「令和6年度 東京学芸大学（TGU）キャンパス訪問」

〔教育学部系進学支援〕

日時 ○ 令和7年 2月 18日（火） 9：20：～18：20

参加者 ○ 本校1・2年生希望者（27名）

訪問先 ○ 東京学芸大学 小金井キャンパス（東京都小金井市貫井北町4-1-1）

☞ 寒さ厳しい2月18日、本校生の希望者27名が東京学芸大学を訪問しました、152年の歴史を有し、教育系単科大学としては国内最高峰に位置する同学への訪問を通じて、教職に対する動機づけを促し、「未来を切り拓くことができる『有為の教育者』」（同学アドミッション・ポリシーから）を志しながら今後の学習活動に取り組んでもらうことが目的です。

首都高・東京外環道の渋滞に巻き込まれ、往路には約3時間半を費やしましたが、13時頃には小金井キャンパスに着くことができました。

☞ まずは東京学芸大学の方から、大学の概要について丁寧な説明をいただきました。端的な説明に、生徒たちも熱心に聴き入っていました。



☞ つづいて、本校OBの現役大学生との交流会です。この日は令和4年度卒業生4名（井上 佳弥乃 さん、岩岡 千優 さん、野口 遥生 さん、藤井 遥 さん）が、忙しいスケジュールを縫って、後輩たちのために参加してくださいました。



先輩方から後輩たちへのメッセージと、活発な質疑応答の後は、先輩の導きでキャンパス内を案内していただきました。都会に位置しながら「武蔵野」の面影を残す雰囲気豊かなキャンパスを、卒業生自ら案内していただけるという、この上なく贅沢なひと時を過ごすことができました。



㊦ 一般選抜の「前期日程」直前という慌ただしい時期にも関わらず、本校生を受け入れてくださった東京学芸大学の皆様と、迎えてくださった4名の卒業生の皆さんには、改めて心からお礼申し上げます。ありがとうございました。そして、参加生徒の中から1名でも多くの「後輩」を出せるよう、生徒・教員ともども頑張っていく所存です！

【生徒の感想から】

◇設問1 今回の事業で、最も印象に残ったことは何でしたか？

- 先輩との対談で様々なことを教えていただいたことです。特に、学芸大ならではの入試制度にちなんだ体験談をしてくださったり、入学してからの夏休みのことなどまで事細かく教えて頂いたことが印象に残っています。
- 大学生の方々との質疑応答の時間がとても印象に残りました。本校の卒業生なこともあり、どういう勉強をすればいいかなど具体的なことまで分かってとても良かったです。
- 先輩方がとても楽しく、充実した生活を学芸大で送っているというのを知れたこと
- 先輩方や学校の雰囲気を感じられて良かった
- 印象に残ったことは、東京学芸大学が教員養成フラッグシップ大学に指定されており、教育に関する最前線の情報を得ることができるということです。
- 先輩方が質問にたいしてすごく詳しく教えてくださったこと。
- 在学生の合格エピソードが印象に残った ・キャンパスの見学
- 夏休みの具体的な過ごし方や、受験を決めたきっかけについてのお話が参考になりました。
- 夏休みがみんなそれぞれとっても楽しそうに過ごしていたこと。
- 大学生の経験談・勉強法 ・短期留学について
- 教育について学ぶ人しかいないため、とても雰囲気が良く学べると仰っていたことです。
- 教育学部に想像よりもとても特化していたことです。特別支援学校の先生の学科や教員を支援する学科があり、幅広い分野で育成を行っているんだなと思いました。
- 東京学芸大では他の学校とは違うことができることが印象に残った

◇設問2 今回の事業への参加を通じて、あなたの「教職」に対する考え方に変化はありましたか？

- 教育支援職というものに興味がでた。
- 自分の教科以外の教科も勉強しなくてはいけないのはとても大変だなと思った。
- 子供たちの心に、大人になっても残れるのは教職という仕事の特別な所、という言葉を引きいて、なるほどと思いました。
- 試して学芸大の見学に行ってみようって感じだったけど、より教員になりたくなった。将来の夢の候補に入った。
- 教育学部に行くなら学芸大学かなと。
- 教職は学生を1番近くで支えられる職業で大いにやりがいがあるものだなと思った。
- 自分の得意なことを教えられることはとてもよいなと思いました。
- 時代に伴って教員に求められるものが変わるんだなと再確認出来ました。
- 教職は生徒一人ひとりの人間形成に深く関わることができ、とてもやりがいのある仕事だということに改めて認識することが出来ました。
- 変化はなかったのですが、教職は素晴らしい仕事であることを再確認出来ました。
- 以前は余り興味はなかったが、今回を通して教職という道もいいかも知れないという考えになった
- 教授の話聞いて、生徒主体の教育や、情報社会に伴って社会が複雑化していく中でどんな子どもに育てるべきなのかよくわかった。

◇設問3 この事業に参加した感想を記してください。

- 教育大学での選択肢は教職だけでなく司書などの教職支援職があるということと、2次試験の内容や勉強法が参考になった。
- 貴重な機会をいただきありがとうございました。一つ一つの質問に丁寧に答えてくださったおかげで大学や教職についての理解が深まりました。ありがとうございました。
- 先輩方の質問コーナーがためになりとても良かったと思います。先輩方、私たちのために、貴重なお時間をいただいて誠にありがとうございました。私の進路の参考にさせていただきます。
- 大学生活について考える大きなきっかけになりました。また、残りの高校生活をより大切に過ごそうという気持ちになることが出来ました！本当にありがとうございました！
- 先輩たちもすごく大学生活が楽しそうだし、明るくて、質問したら優しく丁寧に答えてくれて、不安や疑問が消えました。先生や先輩たちの話を聞いて、楽しい雰囲気を感じました。教員目指して頑張ってください！！応援してます！
- 自分がもしこの大学に入学できた時のビジョンが浮かび、とても良い経験になりました。
- 先輩方の経験談や勉強法などはわかりやすく、東京学芸大学についてもっと興味がわきました。ありがとうございました。
- とてもわかりやすく丁寧に説明していただいたので、大学のことについて詳しく知ることが出来ましたありがとうございました。
- 大学の説明や、案内などの貴重な経験が出来てとても嬉しかったです。先輩方の受験の向き合い方や勉強の仕方を聞いて、自分でも早めに取り組んでいきたいなと思いました。やはり、形式が異なるところ

ろもあるので色々な対策が必要なんだなと思いました。

- 今回の事業に参加して、学芸大学の良さや将来どんな職業に就きたいのかも考える機会になりました。
- 体育が専門の先輩方がいてとても為になった
- 先輩方の話でさらに教師になりたいと思いがつよくなりました。ありがとうございました。
- この度は貴重なお話をして頂きありがとうございました。先輩方のリアルな体験談や、学芸大の教育実習制度に対する思い等を聞いて、より教職について理解が深まり、大学生活のイメージが掴めるようになりました。
- 今回はこのような機会を用意して頂き、ありがとうございました。実際に妻一を卒業して学芸大に進学した先輩方から貴重なお話を聞くことが出来てとても良い時間を過ごせました！
- 先輩方がどのようにして学芸大へ入ったのかという理由や方法を詳しく聞くことができ、大学を選ぶ一つの選択肢となりました。ありがとうございました。
- 合格した先輩方が今の時点ですでに合格ラインに届いていたわけではないことを知り、まだ諦めずにやれるところまで精一杯努力してみようと思いました。また、先輩方が東京学芸大学を誇りに思っている感じがしとてもかっこいいなと思いました。貴重な機会をありがとうございました。
- 模試を受ける回数が増えてきて、自分が本当に大学に行けるのかすごく不安だったけれど、先輩方の話を聞いて、もっと勉強頑張ろうと思いました。

